独占袋とじ 杉田かおる 幻の青春フルヌード

保存版17ページ 『平凡パンチ』と『プレイボーイ』の秘蔵ヌードを

丸ごと蔵出し! 竹下景子 秋吉久美子 大原麗子

麻田奈美 多岐川裕美 池上季実子 太地喜和子

「この正月どうする?」問題を考える 熱討 布施明『シクラメンのかほり』

週刊現代

昭和の怪物 木内幸男と常総学院

全国民必読 このあと必ず大問題になる

「コロナ後遺症」か、「ワクチン後遺症」か

特別定価550円

12 12・19

Weekly Gendai 2020 December

独占 いずれ天皇の義兄になる小室圭さんが私に話したこと

巻末大特集 僕たちは、いったい何を考えてきたのか

誰でも、人生には多少の後悔がつきものだ

直撃 安倍も菅もすがる「最後の政商」の履歴書

あのとき、別の仕事を選んでいたら。別の人と結婚していたら。夢を追いかけるのをやめていなければ

この世を去っていく前に、最後に夫婦で話しておくこと

急いでやって失敗した人が続出

「夫婦の財産」の情報共有が大事。でもタイミングがあるんです

「老親の面倒と介護」から逃れる方法

生前贈与のやり方がこの4月に激変します

完全保存版 夫婦で幸せになるための「最後の総力戦」

銀行口座、家、株式、子ども、孫、墓、生活、自分の気持ち

言い出しづらくても、やっておかないとお互いが困ります

特別寄稿 格好が悪い自分を受け入れる——自分は自分でしかない

「本物の大人」沢田研二という生き方

中島みゆきの名曲『ファイト!』を聞き直す

ドキュメント カブコンとホンダに突きつけられた「身代金」

永田町インサイド 菅総理の「会食センス」を問う

夫婦で幸せになるための「最後の総力戦」

なのは、夫婦それぞれの希望だ。持病があるなど、生活に不自由があるようなら「子供と同居する」「施設に移る」という選択肢も検討しておくべきだ。

一方、夫が亡くなった後も自宅に住み続けたいという妻も多い。自宅が夫名義なら、妻が住み続けられるように対策をしておく必要がある。

この時必ず、「子供と妻の関係」についても話しておこう。

もし関係が悪いのなら、今年4月から始まった新制度、配偶者居住権を遺言書に記載しておくべきだからだ。

配偶者居住権は、死後の遺産分割協議でも設定できる。だが、子供からすれば相続する現金が減るため協力してくれるとは限らない。確実にこの制度を使うなら、遺言書はマストだ。

夫の死後、妻が具体的に何をするのか。ここまで話し合っておき、不安なら弁護士などを遺言執行者に指定しておこう。

夫の死後、妻が自宅に住まないならば、売却の準備を夫婦でしておきたい。たとえば、売却をするためには隣地との境界線を確定する必要がある。もし境界確定図がないなら確定測量が必要で、首都圏なら40～50坪の土地で50万円が相場となっている。1～2ヵ月を要する大変な作業なので、夫婦元気なうちに片付けておこう。

夫婦ともに、いつまでも元気でいられるとは限らない。今後10年で起きる生活の変化についても夫婦で話し、備えをしておくべきだ。神奈川県在住の太田昌子さん(72歳・仮名)は振り返る。

「2年前、夫婦での温泉旅行中に夫が脳梗塞で倒れ、救急搬送されました。夫は意識を失っていたため、私が医者から『旦那さんのアレルギーや持病、普段飲まれている薬はありますか』と訊かれましたが、すぐに分からなかったのです……。あの恐怖の瞬間は、今でも時々夢に出てきます」

医療についても、連れ合いの持病や飲んでいる薬など、夫婦で情報共有しておくべきなのだ。

おカネがおろせない!

夫は幸運にも一命をとりとめたが、意識はなかなか回復せず、入院をすることになった。すると、次の問題が浮上した。太田さんは続ける。

「当面の生活費に困ったのです。うちでは毎月、夫が自分の口座から引き出したおカネで生活していました」

一か八か、太田さんはATMに向かった。が、キャッシュカードを入れた途端、「指紋認証をしてください」という表示が出た。その後、銀行の窓口に向かうも「名義人以外は下ろせない」の一点張りだったという。

「医療費については支払いを待ってもらえましたが、家賃の支払いなどは滞納せざるをえませんでした。夫が意識を取り戻すまでの1ヵ月は、不安で夜も眠れませんでした」(太田さん)

どちらかが病気で倒れるという未来について、夫婦で話して備えておけばこうした事態も防ぐことができたはずだ。ファイナンシャルプランナーの山田静江氏が解説する。

「口座の代理人契約をすればよかったのです。銀行では口座の名義人以外にもおカネを下ろせる人を登録し、代理人カードを発行できます。

指紋認証も年金や生活費の口座からは外しましょう。『他の人にはおカネを下ろせないようにしたい』とみなされ、本人以外がおカネを下ろしにくくなるからです」

保険契約についても、指定代理請求人の登録をしておこう。被保険者が意識を失っているなどの場合、代わりに給付金などを受け取れる。

お墓についても、本音を語り合えるのはいましかない。永代供養墓を手掛けるアンカレッジの調査によれば、約25%の既婚女性が「夫と同じ墓に入りたくない」と答えたという。といっても「夫が嫌いだから」という理由だったのは、そのうち15%に過ぎない。

実は夫と同じ墓に入りたくない人の大半は、縁遠い夫の先祖や親族と一緒に墓に入るのが苦痛なのだという。

「夫婦2人だけの墓を作り、そこに入りたい」。妻が密かにこう思っていても、夫と話し、墓を決める手続きまでやっておかなければ結局トラブルになる。

大型企画満載 次号は12月21日(月曜日)発売です(一部地域は除く)